

カリキュラム編成表（授業科目等の概要）

令和2年度 文化・教養専門課程（日本語学科1年半課程）																			
専門・一般		年次	学期	科目区分	分類			授業科目名	担当教員	授業科目概要	授業時数	単位数	授業方法						
					必修	選択必修	自由選択						講義	演習	実験・実習・実技				
専門	日本語の運用基礎能力を習得する	1	後期	専門	○			総合日本語ⅠA		読む、聞く、書く、話すの4技能をバランスよく練習し、初級の基礎力構築を図る。特に文法の定着を図る。	300	20	○						
	日本語の総合的な運用能力を習得する	2	前期	専門	○			総合日本語ⅡA		読む、聞く、書く、話すの4技能をバランスよく練習し、中級の基礎力構築を図る。	120	8	○						
2		後期	専門	○			総合日本語ⅡB		読む、聞く、書く、話すの4技能をバランスよく練習し、中級の基礎力構築を図る。	120	8	○							
2		前期	専門	○			聴解ⅡA		中級聴解能力を習得させ、日本語能力試験、日本留学試験聴解試験での高得点獲得を目指す。	60	4	○							
2		後期	専門	○			聴解ⅡB		中級聴解能力を習得させ、日本語能力試験、日本留学試験聴解試験での高得点獲得を目指す。	60	4	○							
2		前期	専門	○			読解ⅡA		中級読解能力を習得させ、日本語能力試験、日本留学試験読解試験での高得点獲得を目指す。	60	4	○							
2		後期	専門	○			読解ⅡB		中級読解能力を習得させ、日本語能力試験、日本留学試験読解試験での高得点獲得を目指す。	60	4	○							
2		前期	専門			○	作文ⅡA		中級記述能力を習得させ、日本留学試験小論文試験、大学小論文試験での高得点獲得を目指す。	30	2	○							
2		後期	専門			○	作文ⅡB		中級記述能力を習得させ、日本留学試験小論文試験、大学小論文試験での高得点獲得を目指す。	30	2	○							
2		前期	専門			○	会話ⅡA		中級発話能力を習得させ、日常生活は勿論、大学・専門学校入試における面接試験で評価される会話を身に付ける	30	2	○							
2		後期	専門			○	会話ⅡB		中級発話能力を習得させ、日常生活は勿論、大学・専門学校入試における面接試験で評価される会話を身に付ける	30	2	○							
日本語学習サポート	1	後期	専門			○	初級作文ⅠA		総合日本語ⅠAと連動し、身近な話題について書く練習をして、日本語基礎能力を作り上げる	30	2	○							
	1	後期	専門			○	漢字トレーニングⅠA		基礎漢字1000字をマスターする。	30	2	○							
	2	前期	専門			○	能力試験対策ⅡA		能力試験対策に特化した授業	30	2	○							
	2	後期	専門			○	能力試験対策ⅡB		能力試験対策に特化した授業	30	2	○							
	2	前期	専門			○	漢字トレーニングⅡA		中級漢字1500字をマスターする。	30	2	○							
基礎教養科目の基礎力・応用力を養成する	1	後期	専門			○	日本事情ⅠA		日本社会を生きる上での基礎的教養を身につけると同時に、総合科目の基礎力をつける。	30	2	○							
生活に適応できる日本語能力を養成する	1	後期	専門			○	生活日本語ⅠA		日本での生活に必要な最低限の日本語を身につける	60	4	○							
進学するための情報収集と未来設計を日本語を使って行う	2	前期	専門			○	実践日本語ⅡA		進学に必要な文書の読解と文書作成のスキルを習得する。	60	4	○							
	2	後期	専門			○	実践日本語ⅡB		進学に必要な文書の読解と文書作成のスキルを習得する。	60	4	○							
合計									20 科目	1260 単位時間	(84 単位)								
卒業要件：1200時間履修 必修科目を取得していること										卒業要件及び履修方法					授業期間等				
										1 学年の学期区分					2 期				
										1 学期の授業期間					15 週				